

大竹市の方々と 「小さなハッピー」を一緒に

第48回のインタビューは
大好き大竹応援大使の

日向 カンナ さんです。



自己紹介をお願いします

日向カンナです。3歳から大竹市にてダンスを始め、現在は、東京を拠点に舞台活動と同時に「影のCM女王」の名称で100本以上のCMに出演。その後、振付師として「みんなのうた」の振付や大手企業のCMの振付、全国のダンスを絡めたイベントでの振付演出コンサルティングの活動をしています。映画番組のナレーターや、ラジオパーソナリティ、バラエティ番組に出演など、多方面に「元氣」と「夢」を届けるハッピープレゼンターです。



大好き大竹応援大使になる
きっかけを教えてください

たまたまお仕事で一緒にしたパントビスコさんという、福岡県久留米市の観光大使をやられている方と地元トークになった際、「私も地元何か恩返しができるか、大竹で学んだダンスで地元を盛り上げられないか」という話が膨らみ、まさかのパントビスコさんが大竹市役所にお電話してくださったのがきっかけです。そして、ちょうどその時期に冠番組を持っていたこともあり、「コイ・こいフェスティバル」でのダンスプロジェクトが実現でき、地元でやりたいことが溢れてきています。



大竹市の思い出の場所や
出来事をお聞かせください

やはり、今の人生を作ってくれた場所「大竹ジャスタンス同好会」。そして、その活動場所であった大竹市民会館です。3歳から18歳まで週2は必ず通っていたので、私の青春は全てここに詰まっています。友達との思い出も、家族との思い出も、負けず嫌いも感謝

の心も、ここで培ってきましたね。もう1つは、居酒屋「泰心」。父の大切にしている場所であり、ここでも家族との思い出や両親の背中から学ばせてもらった場所。今では大竹に帰ってきたら、必ず飲みに行きます！

応援大使として今後どのようにして
大竹市を盛り上げたいですか？

「ダンス」を絡めたイベントを作りたいです！ 飲ちゃんの仮装大賞じゃないですが、子供たちの自由な発想や、溢れるエネルギーを活かせるステージを、のびのびと披露できるイベントを年2回ほど開催したいですね。私がそうだったように「夢を持つこと」「挑戦すること」を、ダンスを通じて伝える大人たちが必要だと思います。なので、ダンス関連の企業様とのコラボや、社会貢献事業を大竹市と一緒に作ってきたいです！

今後の活動など大竹市民へ
メッセージをお願いします

大竹市は本当に人が明るい場所だと思います。各地域の方が助け合い、笑顔が溢れている場所だと帰省するたびに感じています。そんな場所で育ったことを誇りに思いつつ同時に、大竹市の方々と「小さなハッピー」を一緒に作らせてもらえたら心から願っております。



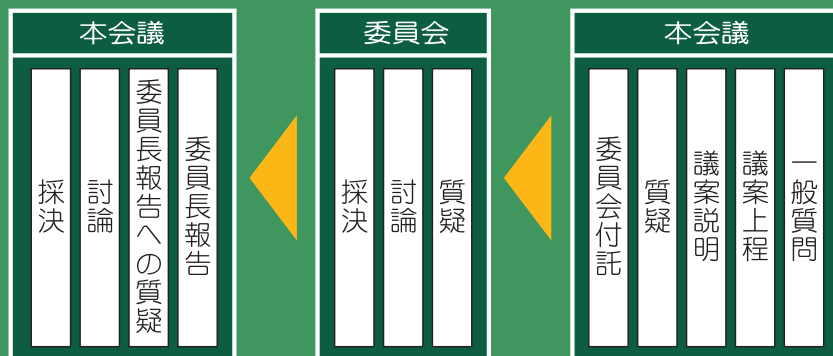
市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



広報広聴特別委員

委員長 藤川 和弘
副委員長 中川 智之
委員 山代 友博
末広 英資
天佑 小出 豊川 和也
哲義

6月定例会の主な流れ



CHECK!!



議会運営委員会
(議事の運営方針決定)